

令和2年度

NITE講座(シラバス)

科目名	事業者等における製品安全対策の基礎知識			定員	各日とも500名	実施方法 (開講機関)	オンライン講座 (製品評価技術基盤機構)
科目概要	<p>本講座は、基礎編、実務者編及びリスクアセスメント編での構成とする。</p> <p>基礎編では、製品安全の基本的な考え方や製品安全に係わる人材が認識しておくべき共通事項として、これまで発生してきた重篤な製品事故とそれを契機とした製品安全対策や最新の製品安全行政の動向を紹介し、また、海外の製品安全動向についても紹介し、実務者編として、製品事故が発生した場合、調査を実施する上での技術的な着眼点と実際の事故事例を紹介しながら、実際の調査の進め方を解説し、リスクアセスメント編では、製品安全でのリスクアセスメントの基本的な考え方と実習、事故情報を活用した未然防止に繋がる事例を紹介し、また、消費生活用製品に含まれる化学物質のリスク評価の考え方についても紹介し、受講者には本講座を受講することにより、企業等における設計や製造・品質管理における製品安全対策等に役立てることが期待できる。</p>						
科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	時間		
基礎編	オリエンテーション		講義概要、講義日程、オンラインセミナーの注意事項等の説明を行います。	10月7日(水)	10:00～10:10		
	1	過去の重大な製品事故と製品安全の考え方	石油温風暖房機による一酸化炭素中毒死亡事故等、過去の重大な製品事故やその行政指導等について紹介し、共通認識として製品安全を実現するために事業者、消費者、行政の役割は何か、また、安全・リスクなどについて解説します。		10:10～11:20 (70分)		
	2	製品事故の動向	令和元年度にNITEに収集された消費生活用製品の製品事故動向を中心に、製品別、生産国別などのデータを用いて多角的な面から紹介します。		11:30～12:00 (30分)		
	3	製品安全施策と消費者行政の概要	経済産業省における製品安全に関する規制の体系、製品安全政策の実施状況やリコール製品の効果的な回収に向けた検討、ネットモール事業者との連携、海外連携など、最近の動向について解説します。		13:10～14:40 (90分)		
	4	海外の製品安全動向	欧米等における消費者製品安全への取組やどんな製品やリスクが問題になっているかについて紹介します。		14:50～15:50 (60分)		
	5	安全対策のための標準と規格開発	繰り返される製品事故を未然に防止するために、製品横断的、個別製品の規格や技術基準・業界基準の作成及び支援を行っています。これまでの取り組みや現在、取り組んでいる内容を紹介します。		16:00～17:00 (60分)		
実務者編	6	最近の事故事例、原因究明(電気分野以外)	電気分野以外の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故を考察します。	10月8日(木)	10:15～12:00 (105分)		
	7	事故事例における調査手法(電気分野以外)	電気分野以外の製品事故調査のポイントを技術的に解説した後に、疑似的に実践していただきます。		13:10～14:10 (60分)		
	8	最近の事故事例、原因究明(電気分野)	電気分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故を考察します。		14:20～15:20 (60分)		
	9	事故事例における調査手法(電気分野)	電気分野の製品事故調査のポイントを技術的に解説した後に、疑似的に実践していただきます。		15:30～16:30 (60分)		
	10	消費生活用製品の事故情報の活用(SAFE含む)	消費生活用製品の事故情報を、FMEAやFTAといった信頼性解析手法を用いて体系的に整理し、事故の未然防止に繋げるための一例を事故を予測するためのシステム等を含め紹介します。		10:30～12:00 (90分)		
リスクアセスメント編	11	消費生活用製品に含まれる化学物質のリスク評価	消費生活用製品には様々な化学物質が使用されています。化学物質に関するリスク評価の考え方及びその事例について解説します。	10月9日(金)	13:00～14:00 (60分)		
	12	リスクアセスメントの基礎	消費生活用製品を製造又は輸入する事業者には、単に法規制を遵守するだけでなく、使用者の視点に立ったリスクアセスメントを行い、より安全性を高めた製品を市場に供給することが求められています。本講座では、製品安全分野におけるリスクアセスメントの基礎を学びます。		14:00～16:00 (120分)		
	13	事故事例とリスクアセスメントの実習	事故の多い製品についてリスクアセスメントの事例や、リスク低減にみるその効果を紹介し、リスク評価手法を体験していただきます。				